

千代田界隈のレトロな風景



秋の日ざしを浴びてとぶ、トンボをかるく休ませて・・・

「野菊」二番より

みどりの風



2019.12.1
-NO.255-

人・ひと日記

小林 功

発行	社会福祉法人 悠朋会
	相模原市中央区千代田2-4-1
千代田	デイサービスセンター
	042-751-0672
ヘルパーステーション	千代田
	042-704-0261
千代田介護支援センター	
	042-704-0281
児童クラブ	いちばん星
	080-5865-1586

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

第四回目の「千代田映画会」は河瀬直美監督の「あん」でした。中学生が立ち寄る程度であり流行っていないどころか焼き屋の店長を演じるのは永瀬正敏。「私にあんを作らせて」とアルバイトをはじめめる徳江さん役は樹木希林さん。小豆に語り掛けるように丁寧な時間をかけ出来る徳江さんの「あん」で、どら焼きはたちまち評判になる。「陽の当たる場所で働きたかった」「お客さん相手の店の仕事が出来なかった」・徳江さんの幸せそうなひと時。

徳江さんは病気の後遺症で左手が少し変形している。住んでいるのはハンセン病の療養所です。かつてハンセン病はらい病と呼ばれ、国は伝染する病気と誤った判断で「らい予防法」という法律で患者を強制的に隔離する政策をとってきました。地域の中から患者を探し出す住民間の通報の奨励。患者たちは療養所の外で暮らすことも、故郷に帰ることもできず、子供を生むことも許されませんでした。親戚に影響が及ばないよう名前を変えての生活が今でも続いている人がほとんどといわれます。映画に出てきた多摩全生園には今も二百名の方が暮らしているそうです。ハンセン病家族訴訟に原告勝訴判決が出たのはつい最近の事です。判決の後、原告の代表は「長きにわたる隔離政策がもたらした偏見差別を解消していくのに国はどうしていいのか・・・」を強く求めていました。

映画ではことさらに徳江さんの生い立ちや理不尽な境遇を描いてはいません。療養所の生活も穏やかです。ただ私が怖いと感じた場面が一つあります。どら焼き店のオーナーが店長に徳江さんの病気にについて語る場面です。偏見を人に語る時、何気ない日常の言葉の中に人の一生を支配してしまう猛毒が含まれていることをこの映画は伝えたかったのだと思います。

最近私もスマホ族になりました。従前のケータイを洗濯機の中で回してしまったのがキッカケです。2回目です。今回はアウトでした。費用もそれほど変わらず格段に便利になるという誘惑に乗りました。現時点で役に立っていることはラジオが聞けること。しかも「聞き逃し」を選択すると過去の放送が聞けること。NHKの朗読の番組で山本周五郎の短編を寝る前に楽しんでます。毎晩深夜に及ぶ菰上チキの「セクション22」も起きて聴けるのは収穫です。

おやつ作り



余暇活動の時間を使っておやつ作りを行いました。7日はフレンチトースト、17日はデイサービスの4階で採れたイチゴを使ったカップケーキ作りを行いました。

どちらのおやつも初挑戦だったので上手いかないところもありましたが、利用者さんの頑張りもあり、上手く作る事が出来ました。どちらのおやつも美味しいから『もう1つ欲しい』などの発言もあり、とても好評でした。



12月の予定

体重測定	9日(月)～15日(日)
忘年会	12日(木)～14日(土)
	22日(日)～25日(水)
ゆず湯	15日(日)～21日(土)
誕生会	15日(日)～21日(土)
書道	19日(木)
折り紙	19日(木)
交流会	24日(火)、25日(水)
シナプソロジー	26日(土)



外出リハビリ （相模原公園）



外出リハビリで相模原公園のグリーンハウスやメタセコイヤ並木を鑑賞に出かけました。グリーンハウスは温室な為、寒い日でもゆっくり散歩することが出来、途中の休憩どころではクッキーを買って、食べながら紅葉を楽しみました。普段はリハビリなどにも消極的な方も色々な所を見るのに意欲的に歩かれていました。



デイサービス利用で女性最高齢者の中島みつゑさんが10月で100歳を迎えられました。デイサービスから花束をプレゼントして、来られている方みんなでお祝いしました。



令和元年10月27日(日)、第9回星が丘地区ふれあいフェスティバルにてうどんを出店しました。今年も300杯以上が売れました。令和元年11月4日(月)、第四回千代田de映画会にて『あん』を上映しました。101名の方が鑑賞され、病気の差別について考えさせられた、樹木希林さんの演技が良かった等の感想を頂きました。



うどんの売り上げ、映画会の鑑賞料、募金を合わせて142,541円になりました。今年売上金は、台風19号で災害に遭われた方への義援金送金を考えています。



突撃



千代田探索隊

ヘルパーステーション千代田の久米です。
今回は千代田にある「月刊アベチアキ」
さんを食しポしてきました。

斬新な店名はオーナーの本名との事で、
メニューや店内の装飾が月ごとに変わる
のとファッション誌が月刊で創刊される
のにちなみ「月刊」を付けたそうです。
店名もさることながらお店もピンクを基
調にポップでおしゃれな造りになってお
り、まるで原宿??不思議の国に迷い込
んだ??と錯覚してしまうほど…

「インスタ映え〜」（↑もう古いかも…）
の言葉がぴったりの雰囲気になっていま
した。ちなみに壁紙も特注だそうです。
店長のアベさんはパンパティで10年程
働かれていた経験がありパン造りのプロ
フェッショナル。提供されるコッペパン
は、サンドウィッチ、や、スイーツ系の
パン、のどちらにも合うよう甘めのパン
に仕上げているそうです。

各種イベントの際にはコッペパンの大
きさや具材も相談にのって下さるとの事
でした。



オーダーはチケ
ット制となっており
券売機で購入した
チケットをカウン
ターで出すとその
場で店員さんが作
ってくれます。

オープンキッチンとなっており、鮮やか
な手さばきを見つつワクワクしながら出来
上がりを待ちます。メニューも揚げパンな
どの定番メニューからピリ辛タンタンメン
などの一風変わったメニューがあり優柔不
断な私は選ぶのに一苦労でした。イートイ
ンスペースはありませんが、待っている間
にいただけるウエルカムドリンク（この日
はシナモンジンジャーオレンジティーでし
た）をいただきながらピンク色の店内でゆ
ったりと過ごすことができました。値段は
200円〜390円となっていますがとて
もボリュームがあり1つでも満足感があり
ます。



店長のアベチアキさん



中央区千代田2丁目11-10

営業時間：10:00-16:00

(パンがなくなり次第終了となります)

年中無休 ※お盆・年末年始は除く

売れ筋ランキングベスト3は
①あげパン
②フルーツホイップ
③季節限定商品（10月はヒレカツ）
とのことでしたが店長のアベさんはフ
ランスパンがお好きだとか…
ネットトヨタのすぐそばにあります
ので、近くにお越しの際はぜひ寄って
みてはいかがでしょうか…?
ちなみに「みどりの風を見た」でち
よっといいことあるかも…??
お店でぜひ声を掛けてみてください
ね!!

最後にインスタ映えスポットで写真
をパシャリ：おいしいパンと異空間で
気持ちもほっこりしながら帰路につ
きました。